

筑波大学大学院数理物質科学研究群

第6回

博士課程学生と企業の交流会

令和6年10月24日(木) 13時-18時 オンライン交流会

(参加登録) <https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/researchers/exchange-meeting/>

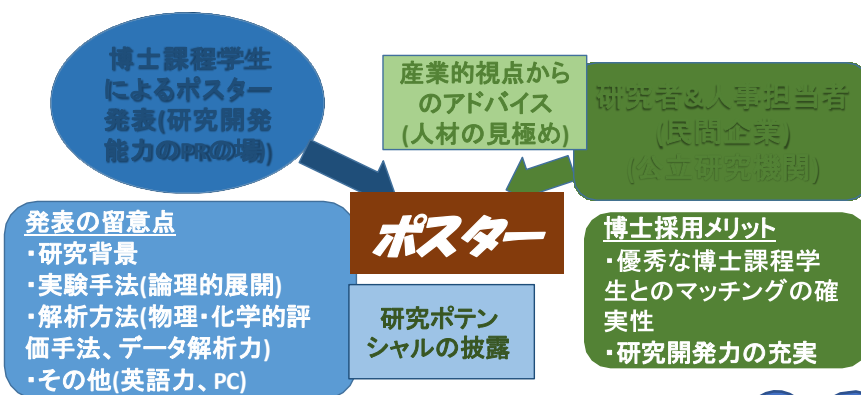
学生は、企業のことが知りたい。企業は、学生のもっている能力を知りたい。双方の欲求を満たす機会が、十分なものとなっていないのではないのでしょうか。限られた情報の基に、互いに企業を選択し、学生を採用しなければならない。入社後に感じるマッチングのずれは、必ずしも簡単に解消できずに、互いに不満を残すことは望ましいことではありません。

ここでの双方向インタビューは、特に自己のポテンシャルを企業に理解していただく機会が少なく、誤解すらされてしまっている博士課程学生と、正しい就業環境や企業イメージを伝えたい企業との意見交換を目的としています。マッチングした人材発掘・企業をより精度高く理解し選択できる機会を提供したいとして企画しました。D1生やD2生は、希望により、継続したサポートの機会に発展させることも考えています。

大学院生と企業との間で、学生の研究内容にかかわるポスター発表を通じて、学生が自身の有する研究開発ポテンシャルをアピールする機会としました。学生は、通常の学会等での発表に留まらず、技術背景から発想点を主張し、実験方法やデータの解析にお

いて用いたオリジナル技術と同時を説明し、イノベーション力あるいはプレゼンテーション力を披露する。企業との意見交換により、学生自らの研究の社会的位置づけの理解を深耕し俯瞰力を高めるとともに、その後の研究におけるイノベーションに反映することができます。

このような機会は、企業にとって、特に、就活前の博士課程学生に対して会社説明会や個人面接では見ることができない学生のポテンシャル/スキルを、ポスターを前にした技術論や技術背景の理解を基にして、期待値を見出すことができます。将来性があるとされた学生あるいはその研究室には、経済的支援や共同研究へのきっかけとすることができます。学生にとっても、自身の希望する、あるいは将来能力を発揮できる



ポスター動画による自身の研究とポテンシャル/スキルの紹介と質疑応答

企業を見出し、望まれる企業への就職に結びつけることが期待できます。また、指導教員にとっても、研究テーマを有効なものとする中で、研究の社会的視点からのアドバイスを得ることができ、アピールポイントを拡張する機会となります。場合によっては、学生および研究室のイノベーション力を刺激し、産学連携研究に発展させることもできます。つまり、大学(教員と学生)と企業の両者にとって、良好な双方向性の高い研究交流とすることができると考えています。

交流会内容

★オンライン形式

○2024年10月24日(木) 13時-18時
(詳細は未確定です)

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:45 講演

講演者 (株) エマージングテクノロジーズ 深澤知憲氏
「博士号取得者のキャリアや企業での働き方について」

講演者 数理物質科学研究群長 黒田眞司教授
「筑波大学数理物質科学研究群における人材育成」

講演者 エンパワーメント推進局 山本千里教授
「若手研究者のためのWeb サロンシステム(PhD×Future)の紹介」

13:45-13:50 休憩

13:50-15:50 ポスターセッション

学生のポテンシャルアピールとQ&A

15:50-16:00 休憩

16:00-16:50 少人数グループ討議

自由なQ&A

16:50-17:00 閉会挨拶

17:10-18:00 企業参加者と教員との意見交換

ご参考

筑波大学数理物質科学研究群ホームページ <https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/>

交流会ホームページ <https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/researchers/exchange-meeting/>